

NSG

GROUP

NSG グループ

2011年3月期 第3四半期 決算報告
(2010年4月1日～12月31日)

日本板硝子株式会社
2011年2月3日

NSGグループ：第3四半期決算

(2010年4月-12月)

アジェンダ

- 決算概要
- 需要および事業状況
- まとめ

要点: 2010年4月-12月期

- 第3四半期累計(4月-12月)業績は、安定しているものの厳しい主要市場の状況を反映
- 持分法適用会社の業績は堅調継続
- 建築用ガラス事業は、前年からの数量回復を反映した業績
- 自動車用ガラス事業は、需要堅調により売上・利益ともに昨年を上回る
- 機能性ガラス事業は、好調な家電市場の恩恵享受
- 通期業績見通しは変更なし

NSGグループ：第3四半期決算

(2010年4月-12月)

アジェンダ

- 決算概要
- 需要および事業状況
- まとめ

連結損益計算書

(億円)	11年3月期 4月-12月期	10年3月期 4月-12月期	前年比
売上高	4,357	4,439	- 2%**
暖簾等償却前営業利益*	244	(29)	
暖簾等償却費*	(120)	(137)	
営業利益	124	(166)	
営業外損益	(50)	(91)	
経常利益	74	(257)	
特別損益	(10)	(68)	
税前利益	64	(325)	
当期純利益	17	(321)	
EBITDA	484	267	+ 81%

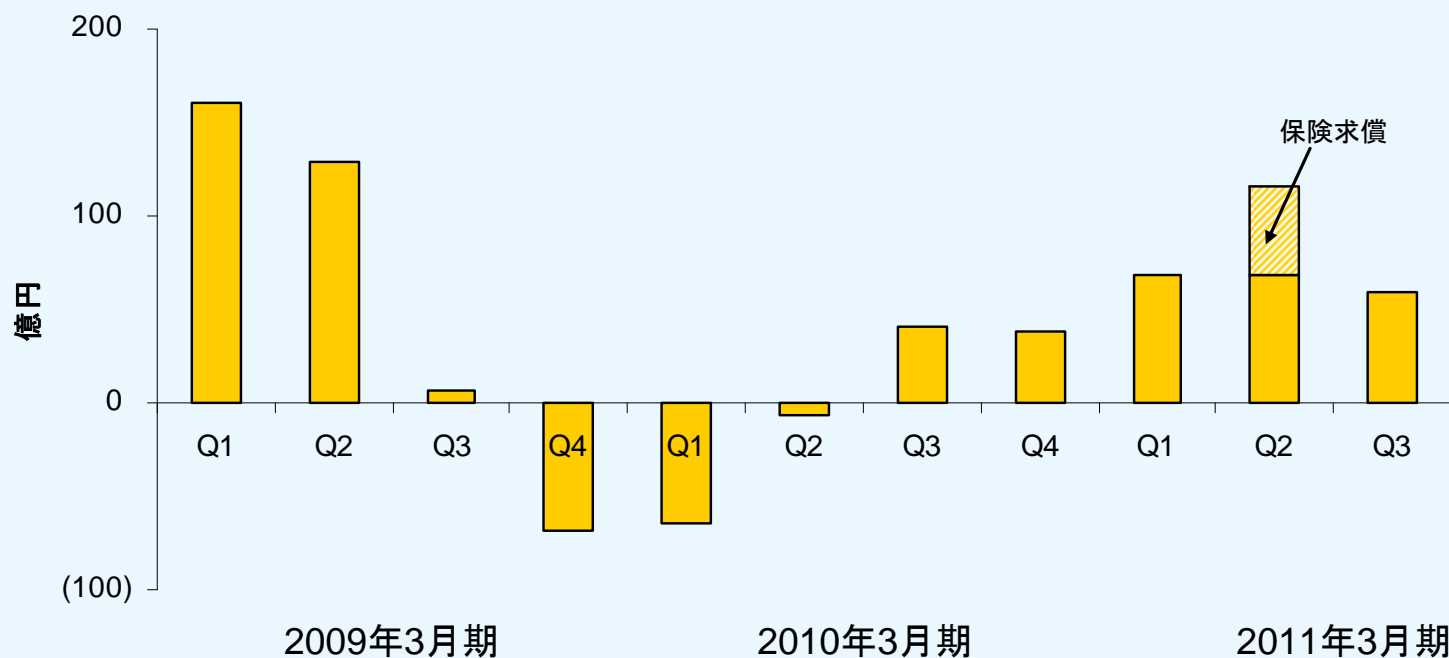
*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

**為替変動を除くと+6%

収益性改善

四半期毎の営業利益動向

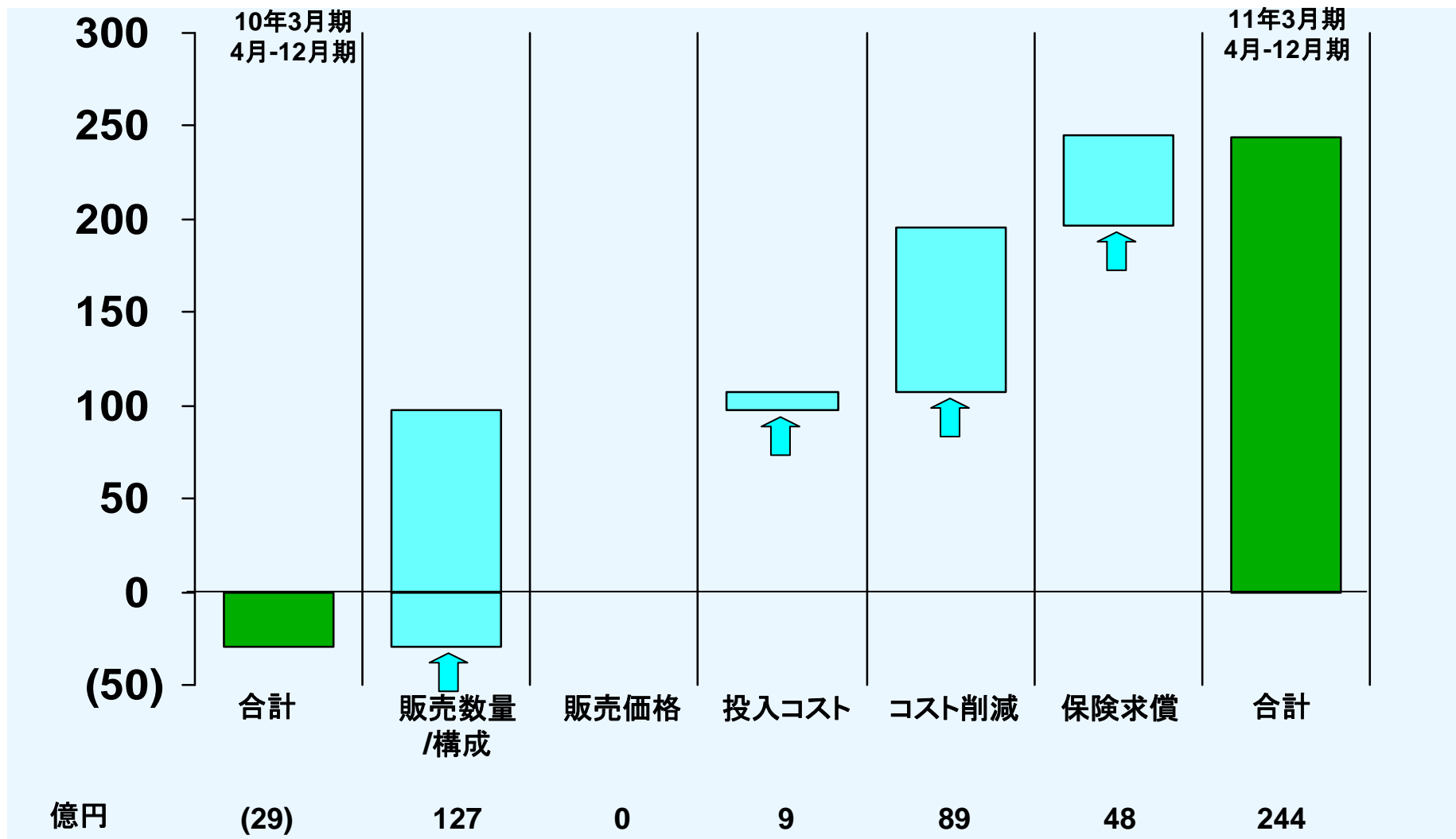
暖簾等償却前営業利益*



*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

季節要因あるが業績は安定的

営業利益差異分析（暖簾等償却前）



数量改善とコスト削減が顕現

営業外損益

	11年3月期 4月-12月期 (億円)	10年3月期 4月-12月期 (億円)
持分法投資損益	63	11
金融収支	(82)	(98)
雑損益	(31)	(4)
合計	(50)	(91)

持分法適用会社の業績が引き続き堅調

連結キャッシュフロー

	11年3月期 4月-12月期 (億円)
税金等調整前当期純利益	64
減価償却費及び暖簾償却費	360
運転資本の増減	(63)
税金等の支払額	(70)
その他	(121)
営業活動によるキャッシュフロー	170
固定資産の取得	(188)
その他	18
投資活動によるキャッシュフロー	(170)
フリーキャッシュフロー	0

キャッシュ創出を引き続き重視

主要財務指標 (KPI)

	<u>2010年12月末</u>	<u>2010年3月末</u>
ネット借入(億円)	2,862	3,146
ネット借入/EBITDA	4.7x	7.7x
ネット借入/純資産比率	1.3	1.3
	11年3月期 4月-12月期	10年3月期 4月-12月期
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	5.7x	2.6x
営業利益率*	5.6%	-0.7%

*P社買収に係る暖簾・無形固定資産償却費負担を除いた

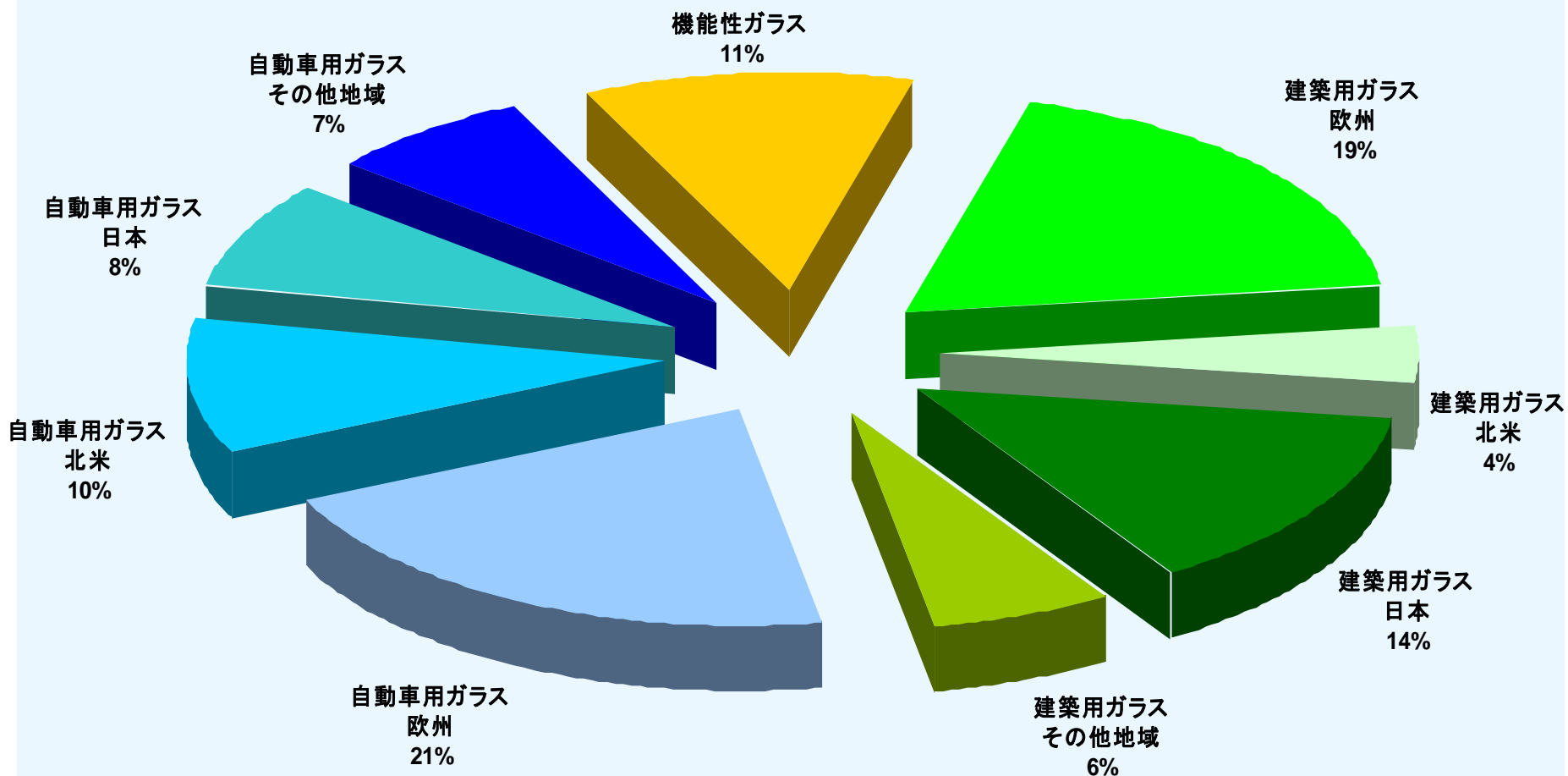
EBITDA改善で財務指標改善

アジェンダ

- 決算概要
- 需要および事業状況
 - 建築用ガラス事業
 - 自動車用ガラス事業
 - 機能性ガラス事業
- まとめ

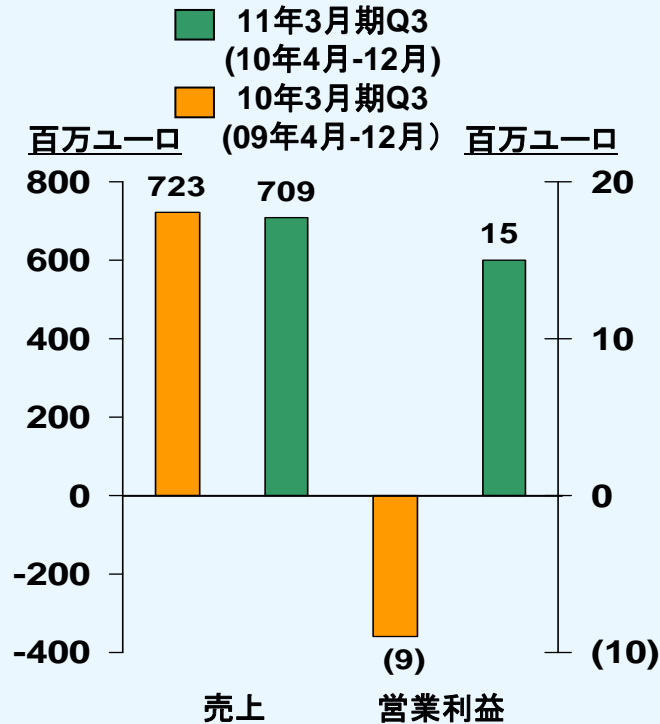
事業別売上高

4,357億円

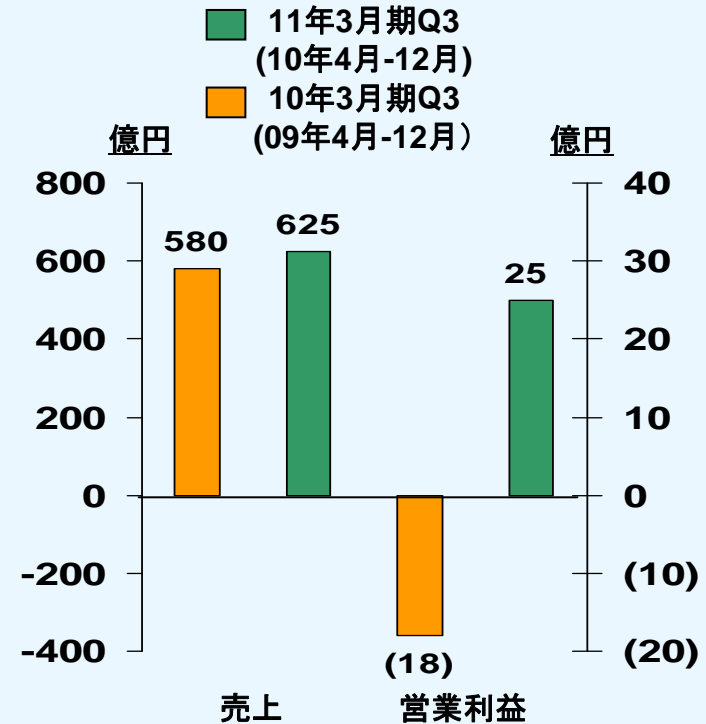


建築用ガラス事業 (10年3月期第3四半期との比較)

欧州



日本

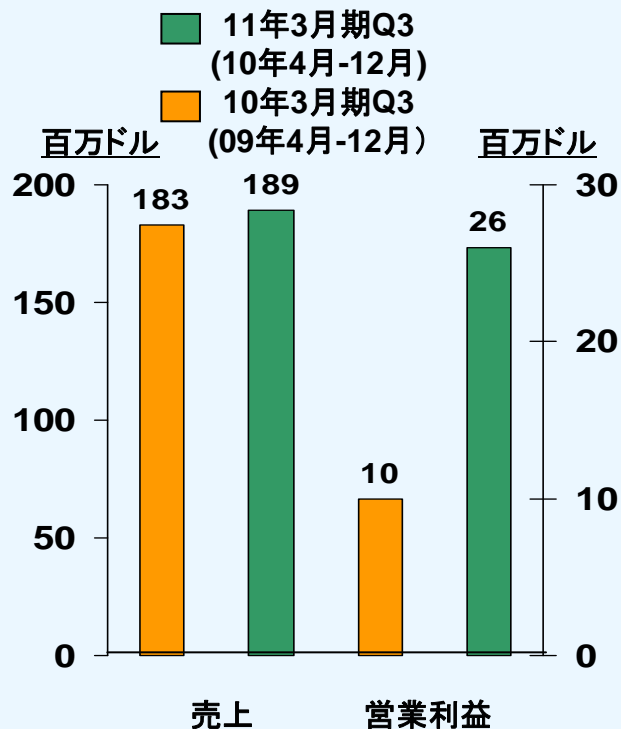


- フランス/スイスの川下加工事業売却とエンジニアリング売上減が数量増を相殺し、売上はわずかに減
- 数量増とコスト削減により営業利益は改善

- 数量増および高付加価値品増加により売上増
- 数量、高付加価値品増およびコスト削減の結果、営業利益増

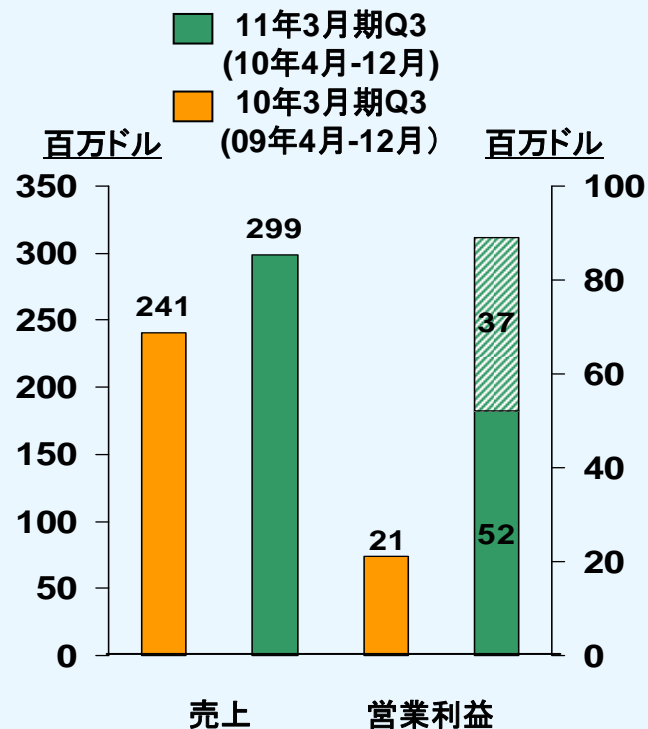
建築用ガラス事業 (10年3月期第3四半期との比較)

北米



- 高付加価値品の数量増により売上増
- 高付加価値品増とコスト削減の結果、営業利益増

その他地域*

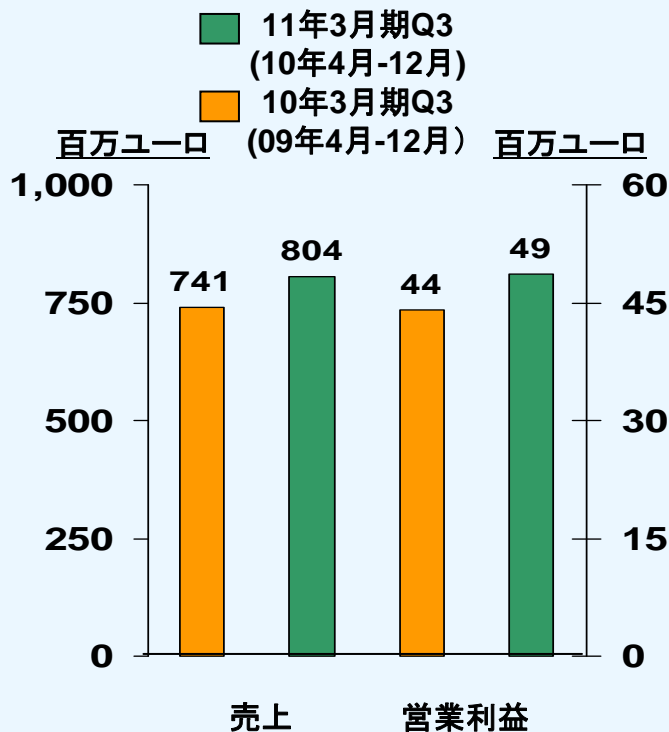


- 価格上昇とソーラー向け型板事業(PST)の連結により、増収増益
- 影付の部分は、一過性のチリの保険金収益

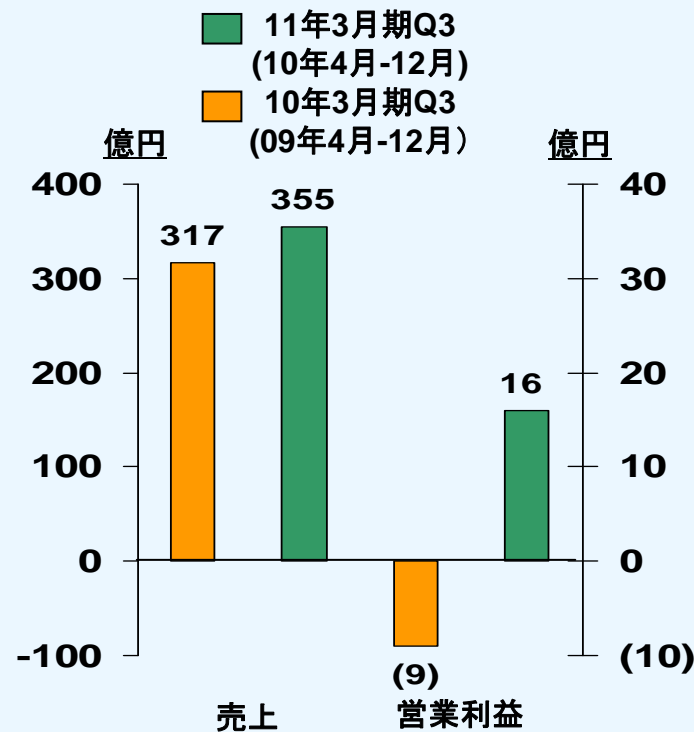
*注: その他地域はアルゼンチン、チリ、中国、マレーシアとベトナム

自動車用ガラス事業 (10年3月期第3四半期との比較)

欧州



日本

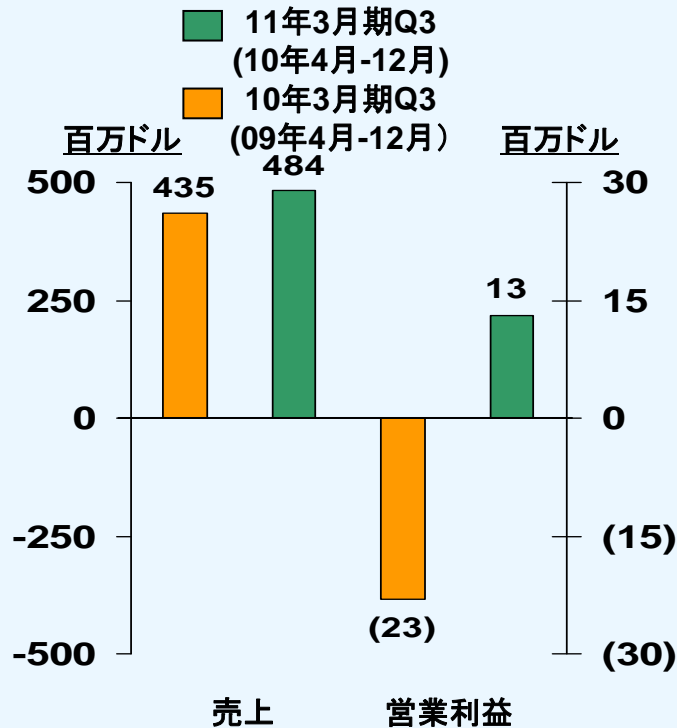


- 補修用市場は安定的だが、完成車輸出が売上成長を牽引
- 価格圧力が継続
- 投入コスト、特にエネルギーコストが上昇

- 10年9月までの政府支援策によりOE売上増
- 補修用市場が成長
- 数量増と生産性の改善により営業利益増

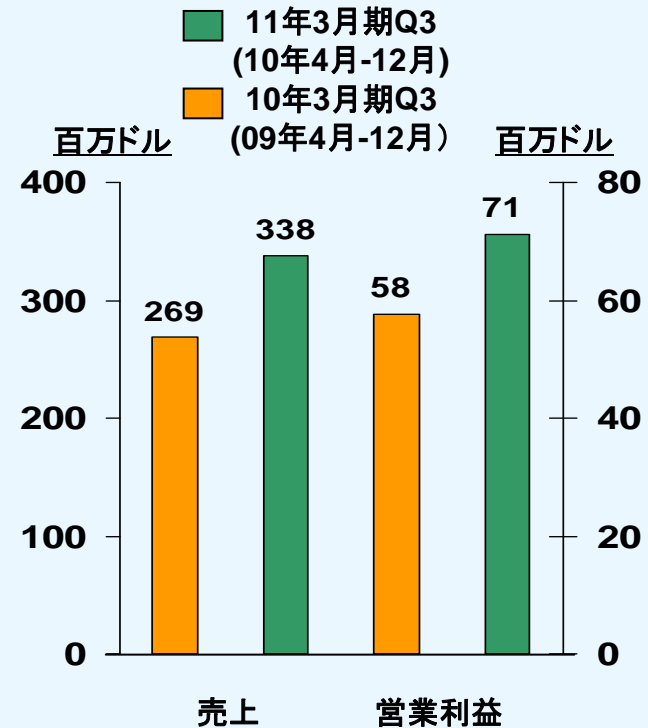
自動車用ガラス事業 (10年3月期第3四半期との比較)

北米



- OE市場は、2009年の低水準から継続回復中
- 補修用ガラスの生産性が改善している
- 数量増と大きなコスト削減効果が営業利益を牽引

その他地域*

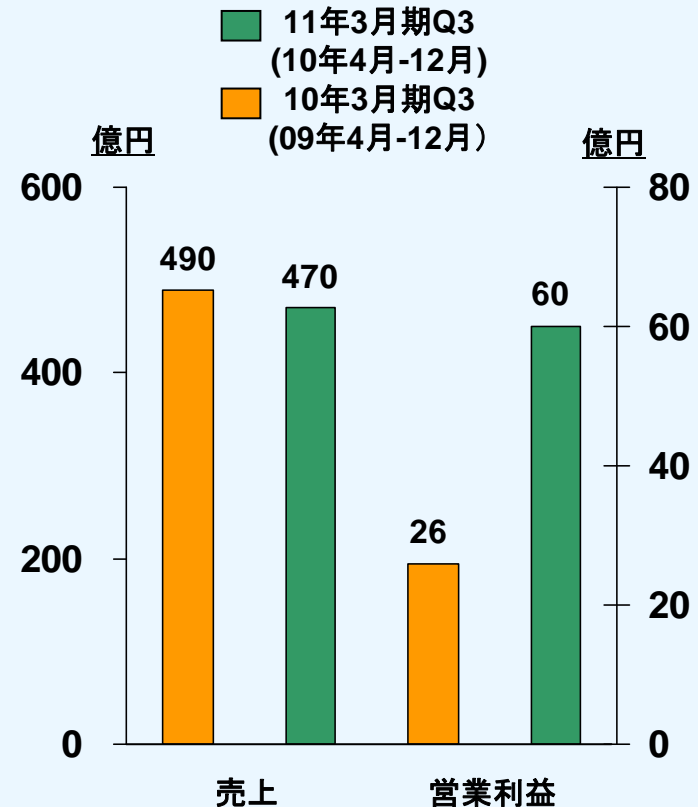


- 市場は引き続き成長
- 価格圧力増
- 数量増がOEと補修用の利益を牽引

*注: その他地域はブラジル、アルゼンチン、マレーシアと中国

機能性ガラス事業 (10年3月期第3四半期との比較)

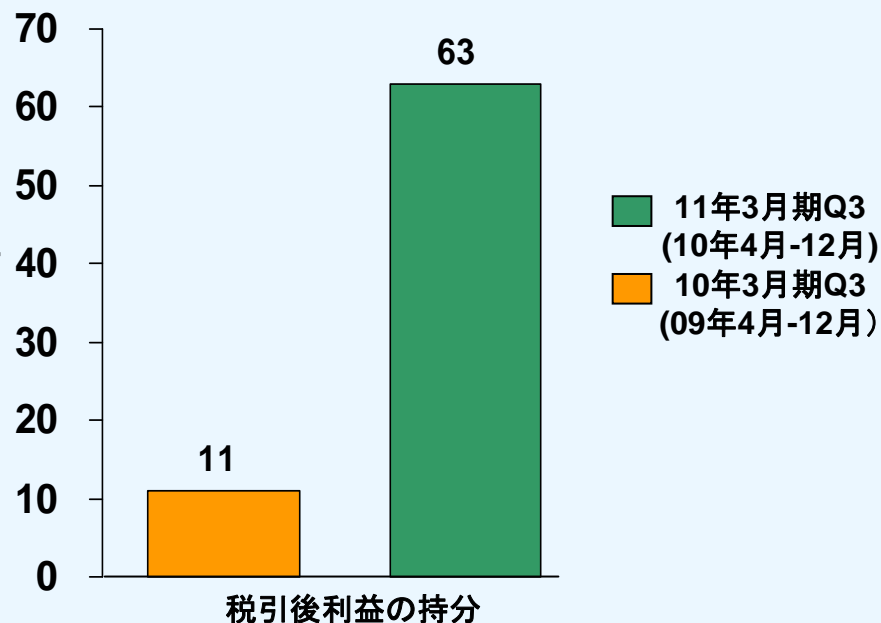
- モバイル機器向けディスプレイ(タッチパネル含む)が、引き続き消費者市場の需要に牽引された
- タイミングベルト用ゴムコードは需要好調(特に欧州と中国)
- プリンター/スキャナー市場は円高の下でも好調継続
- 構造改革施策効果の発現継続により利益増



持分法適用会社(10年3月期第3四半期との比較)

- セブラセの業績は南米市場の堅調さを反映
- 中国およびロシアでの建築用ガラスの合併会社の業績が改善

億円



持分法適用会社の業績は堅調継続

NSGグループ：第3四半期決算

(2010年4月-12月)

アジェンダ

- 決算概要
- 需要および事業状況
- まとめ

まとめ

- 第3四半期累計(4月-12月)業績は、安定しているものの厳しい主要市場の状況を反映
- 持分法適用会社の業績は堅調継続
- 建築用ガラス事業は、前年からの数量回復を反映した業績
- 自動車用ガラス事業は、需要堅調により売上・利益ともに昨年を上回る
- 機能性ガラス事業は、好調な家電市場の恩恵享受
- 通期業績見通しは変更なし

ご注意

- 当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。
- その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高 (2011年3月期 4-12月期)

(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計
建築用ガラス	625	806	164	260	1,855
自動車用ガラス	355	913	421	294	1,983
機能性ガラス	244	48	8	170	470
その他	47	2	0	0	49
合計	1,271	1,769	593	724	4,357

暖簾等償却前 営業利益 (2011年3月期 4-12月期)

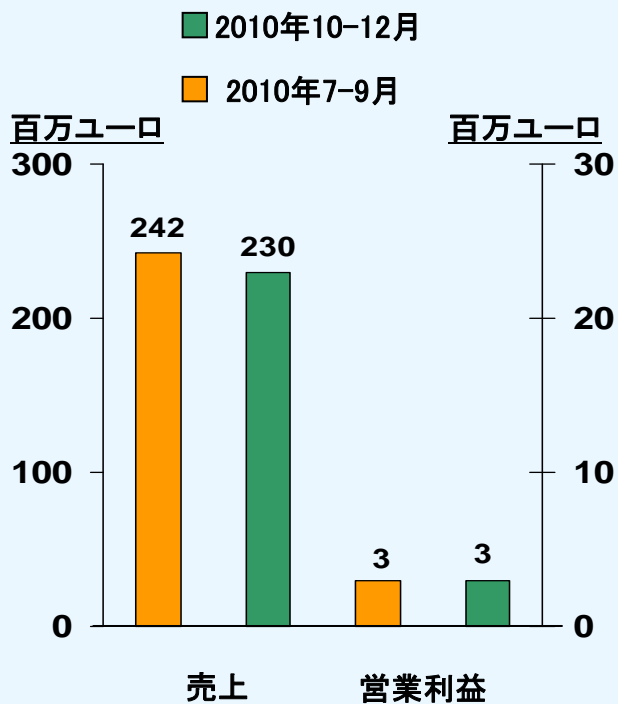
(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計	営業利益率
建築用ガラス	25	17	23	78	143	8%
自動車用ガラス	16	56	11	62	145	7%
機能性ガラス	49	4	1	6	60	13%
その他	(23)	(59)	(22)	0	(104)	
合計	67	18	13	146	244	6%
営業利益率	5%	1%	2%	20%	6%	

暖簾等償却後 営業利益 (2011年3月期 4-12月期)

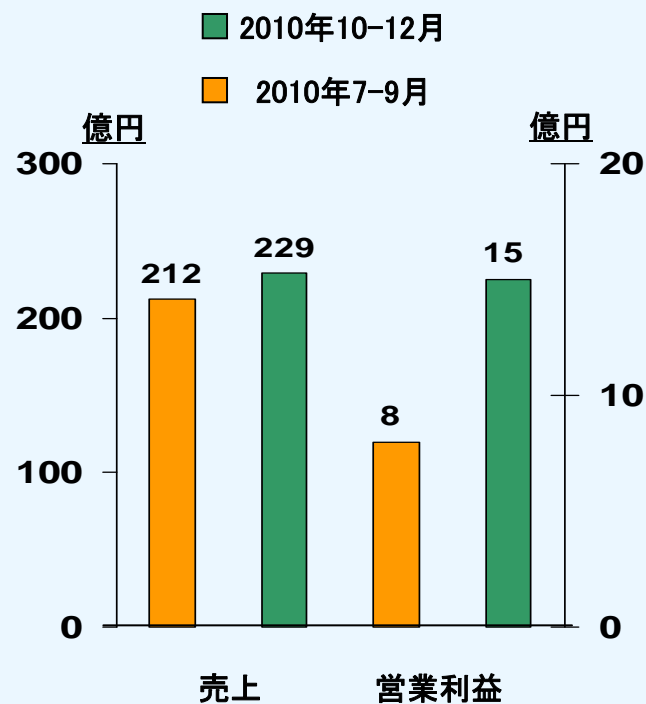
(億円)	日本	欧州	北米	その他地域	合計	営業利益率
建築用ガラス	25	17	23	78	143	8%
自動車用ガラス	16	56	11	62	145	7%
機能性ガラス	49	4	1	6	60	13%
その他	(23)	(138)	(44)	(19)	(224)	
合計	67	(61)	(9)	127	124	3%
営業利益率	5%	-3%	-2%	18%	3%	

建築用ガラス事業 (四半期比較: 2010年7-9月と2010年10-12月)

欧州

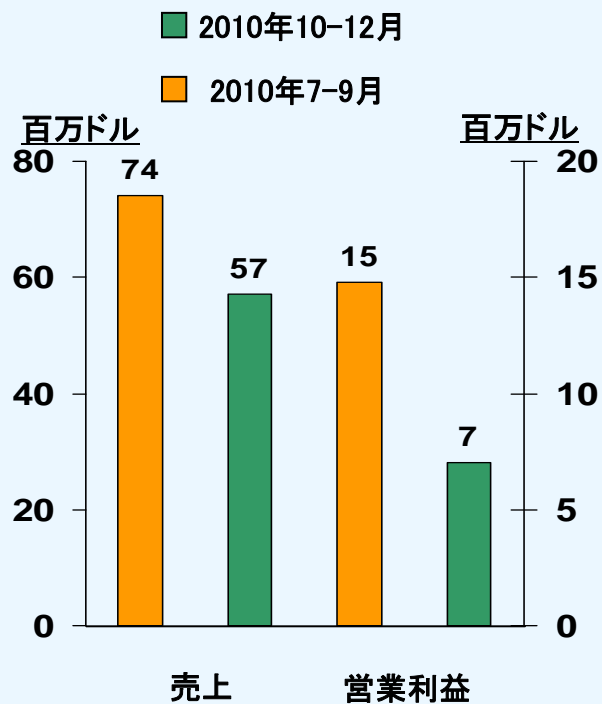


日本

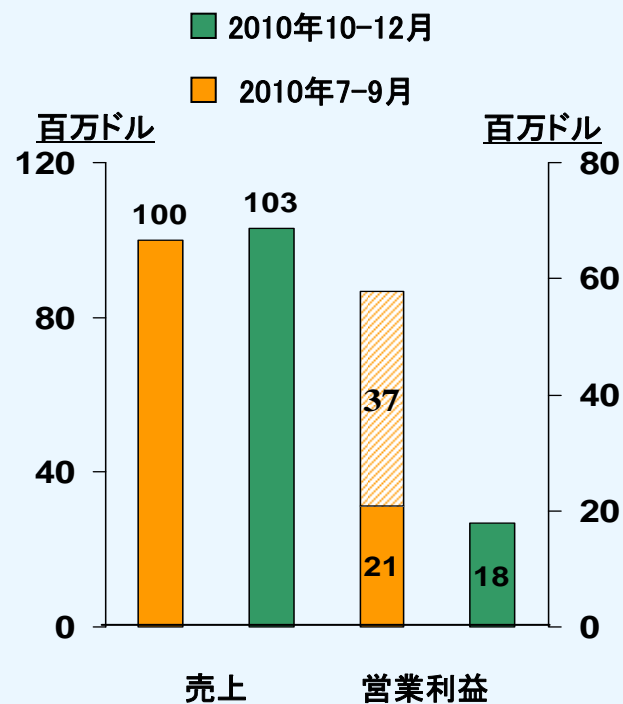


建築用ガラス事業 (四半期比較: 2010年7-9月と2010年10-12月)

北米



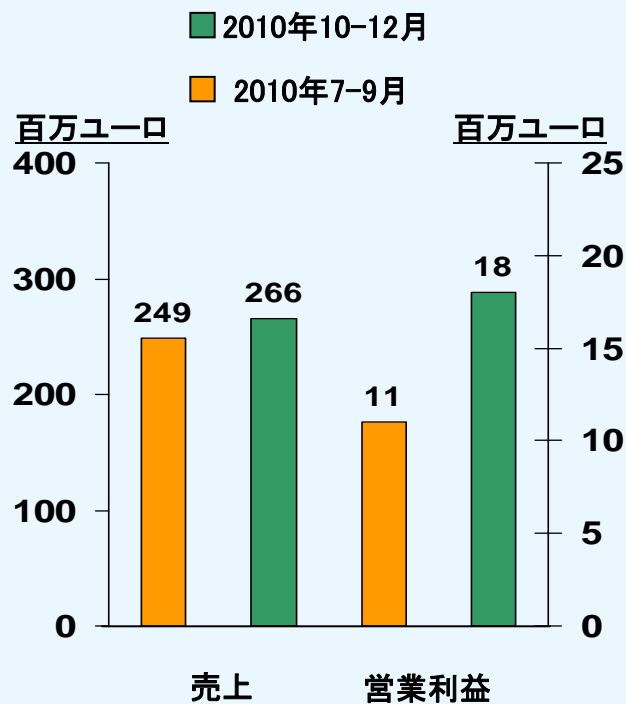
その他地域*



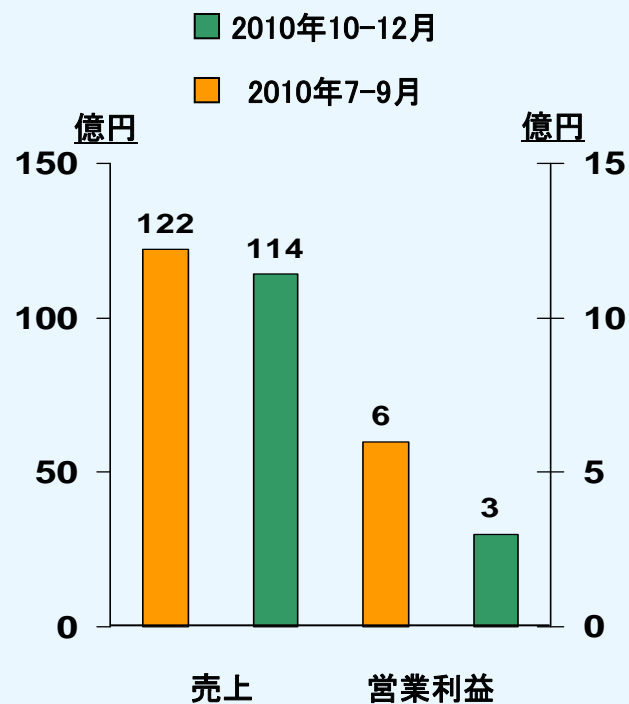
*注: その他地域はアルゼンチン、チリ、中国、マレーシアとベトナム

自動車用ガラス事業 (四半期比較:2010年7-9月と2010年10-12月)

欧州

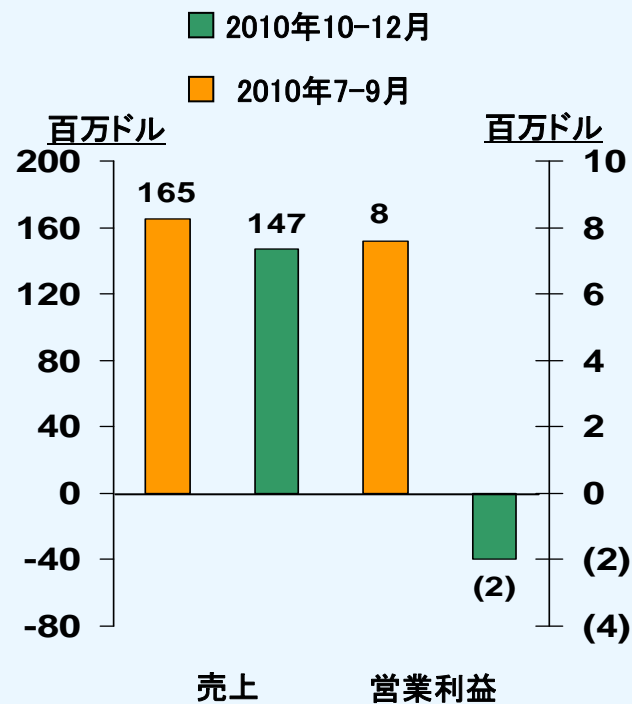


日本

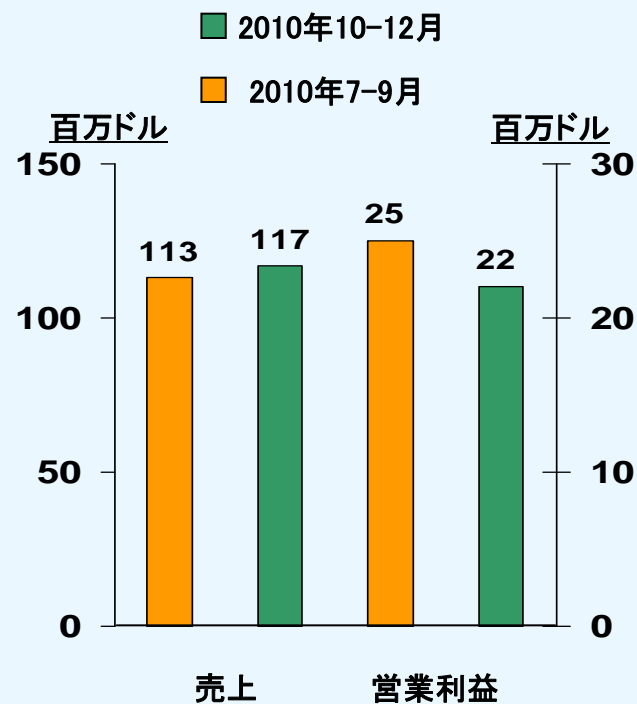


自動車用ガラス事業 (四半期比較:2010年7-9月と2010年10-12月)

北米

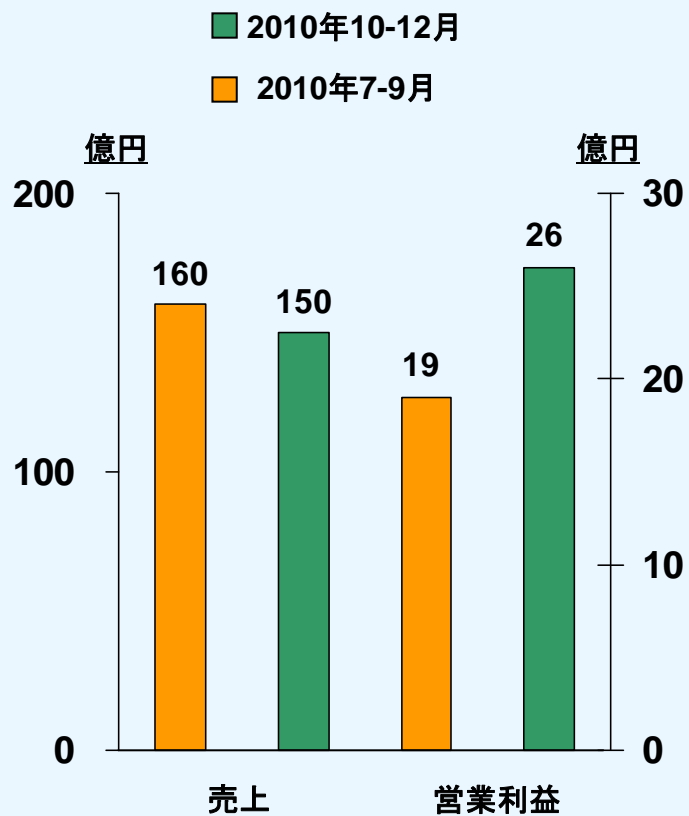


その他地域*



*注: その他地域はブラジル、アルゼンチン、マレーシアと中国

機能性ガラス事業 (四半期比較: 2010年7-9月と2010年10-12月)



前提為替レート

	11年3月期 4月-12月期	10年3月期 4月-12月期
期中平均為替レート:		
円/英ポンド	134	150
円/ユーロ	114	133
円/米ドル	87	93
期末為替レート:		
円/英ポンド	128	150
円/ユーロ	108	133
円/米ドル	83	93

NSG

GROUP